

『へえ～！そうだったのか！？ パーキンソン病』

講師メッセージ

パーキンソン病（Parkinson's disease:PD）はドパミン神経が変性しドパミンが欠乏することで、手の震え、動作や歩行の困難、姿勢反射障害など運動障害を示す進行性の神経変性疾患です。主に運動症状に注目されていましたが、便秘や頻尿、発汗、起立性低血圧（たちくらみ）、易疲労性、嗅覚低下、うつ、意欲低下、睡眠障害、認知症などの非運動症状も注目されるようになりました。PDは年齢と共に多くなる病気で高齢化と共に急増することが予想されます。

治療としてはドパミン補充療法が基本ですが、種々の薬剤があり、ドパミン製剤による合併症も出現するため注意が必要です。薬物療法以外に、手術療法やデバイス補充療法もあり、適切な治療タイミングを考慮する必要があります。

病状は非運動症状が先行することも多く、その対応も必要になっています。さらに、病期により、日内変動、日差変動、薬剤による合併症もあるため、それらを理解した対応が必要です。

本研修会では普段にPDのリハビリや介護を行っている方皆さまに、PDの全容をお示し、今後の対応の一助になればと考えています。

講師

のむらニューロスリーブ
クリニック 院長

野村 哲志 先生

【プロフィール】

<所属学会・資格等>

日本神経学会（専門医）

日本運動パーキンソン病・

運動障害疾患学会（評議員）

（のむらニューロスリーブクリニック ホームページより）

<ご略歴>

1996年 島根医科大学医学部卒業 島根医科大学医学附属病院脳神経外科

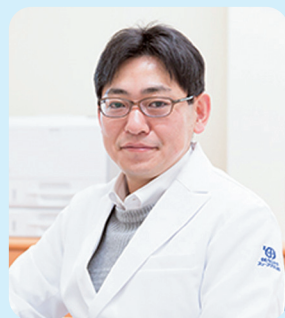
1997年 鳥取大学医学部附属病院神経内科

2001年 鳥取大学医学系研究科博士課程修了

2009年 インスブルック医科大学神経内科 鳥取大学医学部附属神経内科

2018年 のむらニューロスリーブクリニック

現在に至る



日時

2023年12月10日(日) 10:00～11:50
(受付開始 9:30～)

会場

朱鷺会館2階中ホール（出雲市西新町2丁目2456番地4）

開催形式

集合開催とオンライン開催（Zoom）のハイブリッド形式

プログラム

受付開始 9:30～

開会行事10:00～10:10

講演10:10～11:20

質疑応答11:20～11:45

閉会行事11:45～11:50

対 象：島根県内の保健・医療・介護・福祉従事者

定 員：会場50名 オンライン100名 合計150名

参加費：無料（事業費より全額補助）

申込方法：Google form

参加締切：2023年12月2日(土)

※URL もしくは QR コードからお申し込みください。

【URL】 <https://forms.gle/6nCcu3buVoDqCoHs8> 【QR コード】

本件に関する
お問い合わせ先

Mail: ircn.fim@gmail.com 出雲リハケアネット FIM プロモーション部 曾我部
TEL: 0853-21-2733 事務局 三島・園山（出雲市民リハビリテーション病院内）

主催：出雲市在宅医療・介護連携推進団体出雲リハケアネット

後援：出雲市、一般社団法人 出雲医師会、一般社団法人 島根県理学療法士会、一般社団法人 島根県作業療法士会
一般社団法人 山陰言語聴覚士協会、出雲地域介護支援専門員協会、出雲地域介護保険サービス事業者連絡会
しまねリハビリテーションネットワーク